

1000年先の未来へ。
美しい里、豊かな海



かがわ里海大学2021 スタートアップ講座

親子で体験!プールで ライフジャケット着て泳ごう講座

開催しました!



- 日時 2021年(令和3年)6月27日(日) 10:30~12:00
- 会場 香川大学教育学部附属高松小学校 プール
- 講師 ライジャケットサンタ 森重 裕二氏

6月27日土曜日、香川大学教育学部附属高松小学校のプールで、かがわ里海大学2021スタートアップ講座「親子で体験!プールでライフジャケット着て泳ごう講座」を開催し、28名が講座に参加しました。講師に、ライフジャケットサンタの森重裕二氏を迎えて講座を開催しました。

この講座は、保護者と子どもが共にライフジャケットを着用して実際に泳ぐことを体験し、緊急時でも冷静な行動ができるように学ぶ目的で開催しました。





最初に講師から、ため池などで溺れた際にどのようなことが起きるのかについて、模型を利用して説明がありました。足がつかないような深いところでは頭の先程度しか水面から出ず、また水が濁っている場合は水中の様子もわからず、慌ててしまうことから大変危険であると解説がありました。



その後、実際に全員でライフジャケットを着用しました。子どもと大人ではライフジャケットのベルトの位置や構造が異なっており、正しく着用していなければ本来の性能を活かせず、着用の仕方によっては頭部の方が水面に下がってしまうという危険な状況になることも解説されました。

子どもむけのライフジャケットを着用する際に覚えやすい「合言葉」についても教えてもらい、実際に海や川へ遊びに行った際も、この合言葉を忘れないようにして、正しく着用することが大切と説明がありました。



続いて、実際にライフジャケットを着てプールの中に入り、その機能を体験しました。ライフジャケットを着て様々な向きで泳いでみたり、ボールでゲームをしたりして、楽しみながらライフジャケットの安心さを体験していました。

また、保護者が子どもを助ける際に適切な抱え方と泳ぎ方についても解説がありました。正面に向き合った状態だとお互いを水中に押し込んでしまうと解説がありました。また、後ろ向きでプールに飛び込むなど、意図せず水中に転落した場合を想定した実践的な体験も行われました。どの場合でもライフジャケットを着用していれば、恐れずに助けを待つことができ、命を守ることができることを実感しました。

受講者からは講座の受講を通して、「正しいライフジャケットの付け方がわかった」「水の怖さを改めて実感することができた」という感想がありました。